

会 議 要 旨

(1/11)

会議の名称	川越市立川越高等学校教育審議会委員委嘱書交付式及び第1回審議会
開催日時	令和5年3月28日(火) 午後3時00分 開会 ・ 午後4時30分 閉会
開催場所	川越市立川越高等学校大会議室
議長(委員長・会長)氏名	青木 勇藤
出席者(委員)氏名(人数)	蘆田 章吾・内野 博紀・大野 好司・木村 昌幸・栗名 裕美子 長谷部 辰夫・目黒 道明・山崎 紀子(8人)
欠席者(委員)氏名(人数)	小川 修一郎・永島 慎太郎・三原 孝志・若林 圭(4人)
その他関係者職氏名	川越市教育委員会教育長 新保 正俊 学校教育部長 梶田 英司 市立川越高等学校 校長 須藤 崇夫・教頭 深井 道彦・事務長 宮下 浩
事務局職員職氏名	参事兼学校管理課長 西貝 俊哉 学校管理課副参事 四阿 久修・副主幹 原田 浩明
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> 1 委嘱書交付式 <ol style="list-style-type: none"> (1) 開式のことば (2) 委嘱書交付 (3) 教育長あいさつ (4) 委員紹介 (5) 事務局職員紹介 (6) 閉式のことば 2 第1回審議会 <ol style="list-style-type: none"> (1) 開会のことば (2) 議事 <ol style="list-style-type: none"> ① 会長・副会長選出 ② 諮問

	<p>③ 川越市立川越高等学校 学校概要</p> <p>(3) その他</p> <p>(4) 閉会のことば</p> <p>3 諸連絡</p>
<p>配布資料</p>	<p>川越市立川越高等学校教育審議会委員委嘱書交付式及び第1回審議会次第資料</p> <p>資料 1 川越市立川越高等学校教育審議会委員名簿</p> <p>資料 2 川越市附属機関等の会議の公開に関する実施基準</p> <p>資料 3 川越市立川越高等学校教育審議会条例</p> <p>資料 4 川越市立川越高等学校の将来構想について（諮問）</p> <p>資料 5 川越市立川越高等学校教育審議会について</p> <p>資料 6 川越市立川越高等学校学校概要説明資料</p> <p>資料 7 川越市立川越高等学校の長期的ビジョンについて（答申）</p> <p>令和5年度入学生用学校案内</p> <p>令和4年度学校要覧</p> <p>蒼穹第44号</p>

議 事 の 経 過	
発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
事務局	<p>1 委嘱書交付式</p> <p>(1) 開式のことば</p> <p>(2) 委嘱書交付</p> <p>(3) 教育長あいさつ</p>
教育長	<p>御多忙中にもかかわらず、本日の会議に出席いただき、ありがとうございます。また、ただ今、審議会委員の委嘱を快く引き受けていただき、お礼申し上げます。</p> <p>さて、本市唯一の市立高等学校である本校の運営方針の検討については、平成12年度の埼玉県川越商業高等学校将来構想懇話会から始まり、これまで4回、懇話会や審議会を設置し、様々な意見をいただてきました。</p> <p>これを受け、普通科の開設、商業科の学科改編、「川越市立川越高等学校」への校名変更、普通科と商業系学科の定員変更、35人学級の編制、校舎の大規模改修などに取り組んできた。</p> <p>最近では、中学生の「普通科」への進学希望が極めて高く、特に10月1日現在の希望倍率は、平成14年度の校名変更以降、高倍率を維持している。また、情報処理科、国際経済科におきましても、全商検定3種目以上1級合格者数は、10年連続で埼玉県のトップクラスを維持していることは、本校が伝統を踏まえつつも、時代と市民のニーズに応えうる改革を実施してきた成果であると捉えている。</p> <p>しかしながら、国において、高等学校教育改革の大きな機運が高まっていること、また、県内中学生の希望状況において、ここ数年、商業系の学科が苦戦している傾向も見受けられるように、本校においても「市立川越高校の将来像がわかりにくい」などの指摘をいただくこともある。</p> <p>そのような中、前回の答申を受け、就職から難関大学までの多様な進路に対応できる学習指導・進路指導と部活動の充実による文武両道の教育活動の維持と無線LAN環境の整備や校務支援システムの導入などの教育環境の整備を果たしてきた。</p> <p>本校が、本市が誇る市立高等学校として存在意義を高め、さらなる</p>

	<p>教育内容の充実を図っていくためにも、ここで、令和8年に創立100周年を迎えるにあたり、前回の答申に基づく施策について実施状況を把握し、実学教育を重視した起業家精神にあふれる人材の育成や地域社会に貢献する学校の在り方などについて、それぞれの立場で、忌憚のない意見をいただき、本校を高めてまいりたい、このように考えている。</p> <p>本校の改革に皆様方の力をお貸しいただけるよう、よろしくお願いたします。</p>
委員	<p>(4) 委員紹介 自己紹介</p>
事務局	<p>(5) 事務局職員紹介</p> <p>(6) 閉式のことば</p>
事務局	<p>2 第1回審議会 (1) 開会のことば</p>
事務局	<p>開会のことば</p>
事務局	<p>会議の公開について (傍聴者なし)</p>
事務局	<p>(2) 議事 ① 会長・副会長選出</p> <p>川越市立川越高等学校教育審議会条例第4条の確認</p> <p>会長副会長の選任についてどのように進めればよいか。</p>
委員	<p>事務局案はあるのか。</p>
事務局	<p>本審議会の会長を、「元県立川越高等学校長で元市立川越高等学校長青木様」に、副会長を「川越市立川越高等学校同窓会会長木村様」に、それぞれお願いしたい。いかがか。</p>

委員	異議なし。
事務局	青木様、木村様は、前の席に移動していただき、一言挨拶をお願いします。
会長	それでは、会長を務めさせていただき、青木でございます。併せて議長となりますので議事の進行に、協力願う。
副会長	副会長を務めさせていただき、木村でございます。併せて副議長となります。会長を補佐して参りますので、よろしくをお願いします。
会長	それでは、次第に従って議事②に移り、教育長から諮問いただきたいと存じます。
	② 諮問
教育長	(資料4「川越市立川越高等学校の学校運営方針について(諮問)」を読み上げる)
会長	事務局から諮問理由の説明をお願いします。
事務局	<p>川越市立川越高等学校は、大正15年、商業都市川越の商業経営後継者の育成を目的に「埼玉県川越商業高等学校」として創設された。</p> <p>以来、本市唯一の市立高等学校として市民の期待に応えるべく、学校の在り方を検討し、絶えず学校の改革に取り組んできた。</p> <p>審議会設置に至る経緯は、川越商業高校将来構想懇話会、第1次市立川越高校将来構想懇話会、中高一貫教育校調査研究委員会、市立川越高校改革充実検討会議、第2次市立川越高校将来構想懇話会と変遷し、平成27年度に市立川越高校教育審議会となった。</p> <p>これまで本校が力を入れるべき特化事項、適正な学校規模の程度、施設設備整備の方向性などを御審議いただいた。</p> <p>主な成果には、普通科の新設、校名の変更、学科転換、普通科の増員、35人学級編成の導入などがある。</p> <p>前回の答申を受け、教育委員会で作成した学校運営の指針については、具体性に欠ける点があった。</p> <p>また、コロナ禍の影響もあり、思うように取組が進まなかった事情もある。</p> <p>そのような中でも今年度は、市立小・中・特別支援学校との交流や</p>

ふるさと川越の魅力発信を教育活動に取り込むなどの試みを少しずつ再開したところである。

今回の審議会では、前回からこれまでの反省点を整理し、具体的な取組を進めるための示唆をいただきたい。

例えば、本校の魅力をより広く発信してより多くの優秀な生徒に志願してもらうために、中学校との連携の在り方や入学者選抜の方法について、商業学科の在り方として、川越商業高校からの伝統を受け継ぐことと時代の要請に合わせて変化させること、普通科にもその伝統を活かして本校ならではのカリキュラムを作り上げることなどについて、さらにはそれを支える教員の指導育成について、進路多様校として生徒・保護者のニーズに応じた就職から進学までの進路保証と、より難関な大学に挑戦する生徒を育てる進路指導の体制についてなどである。あくまで例ではあるが、このようなことに意見をいただければと思う。

本市では、郷土に誇りを持ち、心豊かに暮らすことのできる、思いやりに満ちた市民社会の実現を目指している。

そうした川越の街を支えるため、ふるさとに愛着をもった優秀な人材を多く輩出することは本校の責務である。

そこで、令和8年に創立100周年を迎えるにあたり、次の100年を見据え、本校の更なる教育の充実を図り、時代の要請と市民の期待に応えるための、学校運営の方針についてご意見をいただきたく、今回の諮問となった。

任期は、承認の日から当該諮問に係る審議が終了するまで。

本日の第1回審議会は、諮問内容の説明と答申までのスケジュールの確認。来年度以降は年2回程度実施。令和5年度は長期的ビジョンの課題の整理、今後の学校運営の方針にむけた論点整理、令和6年度は、今後の学校運営の方針の検討、令和7年度は今後の学校運営の方針に向けた具体の施策・提言を予定している。

会長

前回の答申を受けて作成した学校運営の指針については、具体性に欠けていたとのことである。

審議会は年2回程度実施し、方針の検証、100周年に向けた具体的な方針の作成を目指すといったところである。

関係者として、校長、教頭からの説明を求めることについて、異議無いか諮ります。

異議がないようなので、学校概要について、校長、教頭から説明願います。

<p>校長</p>	<p>③ 川越市立川越高等学校 学校概要</p> <p>本校は大正15年に、川越商業高等学校として、商業経営後継者の育成を目的として設立された96年の歴史と伝統のある学校である。吹奏楽部や野球部の応援に川商という言葉が残っている。平成14年には普通科を開設した。大きな転機となった。川越市の唯一の市立高校であり、教育委員会から支援を受けている。小中からも温かい支援を受けている。</p> <p>生徒の特長、情報処理科は、真面目な生徒が多く、資格取得を目指している。昼休みに机に向かう生徒もいる。国際経済科では、資格取得を目指しながら、部活に力を入れる子もいる。普通科は、多様な生徒がおり、大学進学を目指す子、部活に力を入れる子がいる。</p> <p>男女の割合は、女子生徒が7割から8割。</p> <p>学習指導要領が改訂され、新1年生は、タブレットを全員購入予定。これを一つの節目として、教育方法の改善を目指している。</p> <p>3年間継続した進路活動を行っている。大学進学、公務員を目指す等がある。</p> <p>大学進学は、普通科で6割、情報処理科で2割、国際経済科で4割程度。</p> <p>公務員の毎年20名程度。川越市の職員になる生徒、国家公務員になる生徒もいる。</p> <p>普通科の生徒が商業系の授業を選択できるなど、複数学科のよさもある。</p> <p>市から支援をもらっているので、市内生を増やせたらと思う。</p> <p>今年度は入試倍率が減少した。教育内容が認められて、希望者が増えるとよい。</p> <p>伝統の良さがある一方、組織の活性化に課題がある。高年齢層の教員が多くなっている。</p>
<p>教頭</p>	<p>生徒数は、資料にある通り。男子生徒が少ないことが、学校行事や部活動等に影響が出ている。男子生徒が少ない要因は、活発な部活は女子の部活が多い。女子バレー部、女子バスケット部、チアダンス部が人気。男子生徒に人気があるのは、やはり野球部である。また、中学生や新入生へのアンケートでは、本校の魅力は、楽しそうという言葉が多い。</p> <p>サッカー部は専門の教員が来たので、今後の活躍を期待したい。</p> <p>川越市内生は例年30%前後。さいたま市は減少傾向。令和5年度入学の生徒については分析中。</p>

転学生徒は、全員が通信制への転学。本校に合わないというのではなく、対人関係、コミュニケーションを取ることが難しく、自分のリズムで取り組める通信制へ転学している。

入学者選抜では、倍率が大きく減少。中学校や塾等から聞いた話をまとめると、今年、評価が大きく変わったのではなく、今まで倍率が高かったため、敬遠されがちになっており、また、今年度は近隣の私立高校が多くの入学者を取っている状況があるなど、そういった影響があるのかもしれない。

学校説明会では、全てのトイレが和式であることに驚く声が多かった。女子生徒が多く、そのようなことを気にする者もいるのであろう。入学後のアンケートでも、同様にトイレをどうにかしてほしいと意見が出る。

入学説明会の日程を変更予定。来年度は少し早い時期を追加する予定である。

本校を選ぶ理由として上位に上がるのは、資格取得や、楽しそうといったもの。進学を希望する生徒が増えているにもかかわらず、選ぶ理由上位5位に進学は入らない。進学に関する項目が出てくるような施策が必要かもしれない。

令和4年度入学生より、新学習指導要領となった。教育課程については、進学にも就職にも対応できていると考えている。次年度以降の課題として、来年度入学生より全員が購入するタブレットの扱いについて。研修等も実施してきたが、保護者負担で購入させたものであるので、活用していかないといけない。

英検に力を入れている。推薦入試で受験する子も多いので、英検受験者が増えている。英検の受検方法も多様化している。

全商検定は、長い期間上位にいる。このグラフは数での比較であり、本校は3学科しかない中で、高い順位を維持している。

時代に合わせた生徒指導への転換が求められる中、校内ルールなどの見直しを行っている。

保健室利用者が急増している。要因は、コミュニケーションがうまく取れない、友人関係に悩んでいるといったものが多い。

進路指導では、他の学校と大きくは変わらないが、商業科の併置校であるので、面接指導については充実している。商業科で進学率が上がっているのは、推薦入試でこういったところが生きているのではないか。

令和4年度、14名が公務員になる。川越市役所職員選考にも2名合格者が出ている。

事務職員求人が厳しいと言われている中、本校は、希望者よりも多

くの求人が来る状況である。これまでの実績によるものと考えている。就職希望者全員の就職先が決まっている。

大学入試では、一般入試より推薦入試で進学先が決まる。指定校推薦や総合型入試が多い。以前は、推薦入試は、一般入試前の腕試しのようなイメージであった。最近では半数以上の合格者を総合型選抜で決めるような大学もある。推薦入試が悪いといったものではないが、一般入試で挑戦する生徒も増やしていきたいと考えている。

商業科においても、就職者は減少傾向。

学校説明会において、在校生に学校の魅力の話をさせた。商業科の生徒が進学した、といった内容を伝えたところ大きな反響があった。

就職も県内の中でもよい実績を上げている。有名な企業への就職者も多くいる。

部活動も大きな成果を上げている。野球部は春の大会で3位となった。柔道部も数年ぶりに関東大会出場となった。女子バレー部の先日の大会で県大会3位。チアダンス部は全国2位となった。吹奏楽部も数年ぶりに全国大会出場となった。

部活動が活発で、良い実績を残すと、教員の出張が多くなるので、複数顧問制を実現したい。

教員の年齢構成を見ると、55歳以上の教員が半数以上。若い力も学校の発展には必要と考える。

負担軽減の取組については、資料のデータ化等を進めている。

市制100周年を記念する年に、市立高校として市内に何か還元できないかと考え、様々な事業を行った。

小学生対象の学校見学会は、近隣に住む小学生が多く参加した。好評であった。

ホームページで川越市の魅力発信を行っている。

市内中学生のみを対象にした、学校説明に関する動画配信を行った。来年度も時期等考え実施したい。

特別支援学校とも交流を実施、ウエスタ川越の作品展示なども行った。

市内中学生と、本校生徒の交流を実施。内容は、本校の良さを発信するだけではなく、中学2年生への進路指導の一貫として高校生活とはどのようなものかを説明し、中学生の進路選択の役に立てればと考えた。

P T Aは非常に協力的。役員数が多く、多くの方が役員になってしまったため、役員数の削減などを課題として考えている方々もいる。

会長

質問等あるか。

<p>教育長</p>	<p>前回の答申を受けて作成した指針の中には、具体性に欠けるものがあった。</p> <p>市の庁議の中で、本校は母体が商業系である。市民のニーズは、進学も考えなければならないが、商業科を充実させることが必要だという意見もあった。</p> <p>生徒のニーズに応えつつ、特色ある学校づくりを進めてほしい。どういった学校運営をすればよいかという意見が欲しい。</p>
<p>委員</p>	<p>55歳以上の方が多。市立川越高校の教員の異動はどのようになっているのか。</p>
<p>事務局</p>	<p>市内唯一の高等学校であるので、本市のみでは異動ができない。県立高校の教員の中に、本校を希望する者がいたときに、人事交流が成立する。居心地がよい学校であるので、出たがる教員が少なく、来たいという者がいても、人事交流が成立していない。そういったことで高齢化が進んだという背景がある。</p>
<p>委員</p>	<p>任命権者が異なるため、一度退職しないといけないというのもネックとなり、人事交流が進んでいないという状況である。</p>
<p>委員</p>	<p>父親の時の新任の教員が、私の担任であった。私の時の新任が、息子の担任であった。このように、長く市立川越高校で教員をやっている者がいる。</p>
<p>委員</p>	<p>長くやっていることが悪いわけではない。私立と同じような状況で、部活動に力を入れられるということがある。</p>
<p>会長</p>	<p>審議会の進め方で何か意見はあるか。</p>
<p>委員</p>	<p>商業系に力を入れるといった話もありつつ、進学実績も。どっちに力を入れるのかがはっきりしない。具体性に欠ける要因になっているのではないか。</p>
<p>委員</p>	<p>ICTの活用により商業と進学の両立が少し見える時代になってきている。企業のコンクールに参加し、商品開発などを行い、総合選抜入試に活かす。</p> <p>VRゴーグルで跳び箱を跳ぶ感覚を身に付けることができる。IC</p>

<p>教育長</p>	<p>Tの活用により可能性は広がっている。 負担軽減にも、ICTは有用で、欠席連絡フォーム等も実施している学校が多くある。</p> <p>方向性が定まっていないことが具体性に欠けるといった意見もあった。情報活用能力を生かしていくという意見いただいた。</p> <p>実学教育を重視した学校、実学を重視して進学や就職につなげる。市内の中小企業、起業家等に指導を受け、大学から就職といった単一的な考えではなく、自分の将来を見据え、進学するか、就職するかを考えられるような高校生にしたい。</p>
<p>会長</p>	<p>事務局、学校から話を聞き、様々な角度から多彩で示唆に富む発言があった。</p> <p>本日の審議はこれにて終了とする。 進行を事務局に戻す。</p>
<p>事務局</p>	<p>審議への協力に感謝。</p>
	<p>(3) その他</p>
<p>事務局</p>	<p>次回の会議については、年度が替わってから改めて連絡する。 会場は市立川越高等学校での開催を考えている。</p> <p>審議委員承諾書の、余白に自筆でご署名いただき、本日帰りがけに事務局に提出願う。</p> <p>報酬と交通費の振込先を指定していただく書類や、個人番号を申告していただく書類を該当する方の封筒に入れてあるので、記入し提出願う。</p> <p>学校要覧や令和5年度入学者用学校案内等も資料として配布している。お目通しいただきたい。</p>
<p>事務局</p>	<p>以上をもって、川越市立川越高等学校教育審議会第1回会議を閉会する。</p>